

# 放課後等デイサービス自己評価表（カノン）

2017年9月実施

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		高校生中心の部屋が狭く、建物内の会議室を使用して場を確保している。
	② 職員の配置数は適切であるか		○		配置数は十分確保しているが、男児が多いのに対し、男性職員が一人しかおらず、男子学生のアルバイトで対応している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			エレベーターや身障者用トイレがあり、廊下にも手すりあり。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			非常勤職員を含む全ての現場職員が参画している。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○			2018年に1月アンケート実施。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			2018年3月公開
適切な支援の提供	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			西宮市児童通所支援事業所連絡会（西児連）にて相互評価として実施。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		新人職員には障害特性についての内部研修を実施。こども未来センターの研修や西児連の研修に参加。会議での伝達研修を実施。非常勤、アルバイトへはOJTを実施。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートと保護者のニーズ表（フェイスシート）やK式検査結果をふまえて計画を作成。モニタリングの時期には保護者への聞き取り等差異アセスメントを実施し、次の計画を作成。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			必要と思われる場合、臨床心理士が発達検査を実施している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月プログラムを立案する会議を実施。全職員の意見を聞いてプログラムを立案している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ベースになる活動があり、そこに時々変化をつける為、音楽療法や創作活動を取り入れている。内容に関しては、職員間だけでなく、アルバイトスタッフを含めて話しあう機会（プログラム会議、曜日別会議など）を設けている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			集団、個別で利用時間に合わせてプログラムの設定。土曜日や長期休暇にしかできないプログラムを考案するなど工夫。夏休みなどの長期の場合、一日を通して、有意義な活動の計画の実施については検討している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団を基本としつつも、児童の発達段階に応じて個別の活動の提供や、コミュニケーション手段も個別に設定している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎回周知を図っていて実施している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日支援した職員全員で振り返りを実施している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録をつけるときに支援計画にむけての評価をし、日々モニタリングを実施。また毎月会議を開き、職員全員で経過を確認している。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		日案に記録。必要に応じて、一日の流れや取り組み中の様子を追加の記録で記入。記録を元に支援について気になることなどは話し合いを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		自立支援と日常生活充実の為の活動、創作活動、余暇活動などを組み合わせて実施している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しい	○		基本実施。体制上困難な場合は、情報の共有などを行った上で別の者が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	保護者からの情報が主となっている。台風等の登下校には、学校に連絡し送迎にむかう時間などを確認している。行事等については、保護者配布資料やホームページにて確認をしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアが必要な方を現在利用していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	本人中心支援計画の会議での情報をもとに理解を深めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		事業所作成の、アセスメントシートや支援計画書を使用し、引継ぎのために話し合いの機会を設けている。本人中心支援会議や直接事業所とやり取りを実施。その際には引き継ぎの資料も作成している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		西児連主催の事例検討会において、児童発達支援センターの専門家からの助言を受けることができる。センターに要請すれば事業所に訪問しての助言・指導を受けることもできる。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	事業所として実施していない。今の所今後も実施の予定はない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	西児連として代表を出しており、報告を受けたり、意見を出すことができる。法人からも参加しており、月に1回の報告がある。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々のお迎え時やモニタリング面談にて計画内容や現状の確認、今後の支援の方向性等について話している。お迎えに普段来られない保護者については、連絡帳を基本に、必要に応じて電話連絡を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	療育等支援事業のペアレント研修や外部研修の案内を実施している。ケースに応じて個別的に自宅に訪問し保護者へのアドバイスや療育的な視点で支援する機会がある。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約をするときに丁寧に実施している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じて迎えの時間や、電話での相談、本人中心支援計画の場で行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援や保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	2017年度は1回の実施。保護者同士の連携を支援する取り組みはできていない。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		法人として苦情解決体制や意見要望カードなどの仕組みがある。保護者等への周知について、契約時の重要事項の説明で伝えている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して		○	定期的な会報は発行していない。必要な情報はその都度プリントにして配布している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の載ったファイルはカギ付きの棚に保管。パソコンなどのデータ情報についてはセキュリティを強化している。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子供への意思疎通に関して、わかりやすい声掛けや絵カード等を使用するなど配慮を行っている。書面での理解が難しい保護者へは電話や直接会う等の対応をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	事業所として実施していない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルは整備済み。保護者への周知が不十分。今後マニュアルの整備状況について保護者に周知していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	児童(カノン)単独では未実施。地域生活支援センター「ジョイント」含めて実施予定
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待を防止する為、適切な支援を行なう研修を実施している。全職員が職員行動規範をチェックし、意識づけをしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		支援会議で必要性の有無を検討の上、こども、保護者、相談員への説明。同意を得た上で、計画にも明記し実施。現在は対象となる児童はいない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	アレルギーの保護者から確認。該当する食品の提供はしていない。 医師の指示書までは未確認。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットをまとめたデータの共有できるフォルダーがある。職員が確認できたかどうかを声掛けし、漏れがないよう確認をしている。